

定例教育委員会会議録

(令和7年5月9日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和7年5月9日（金）
9時30分～

場 所 岡谷市役所2階 202会議室
署名委員 轟教育委員、小平教育委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 学校評議員の承認について【資料 No. 1】（非公開）（教育総務課）
2. 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について【資料 No. 2】（非公開）（教育総務課）
3. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員
の承認について【資料 No. 3】（非公開）（教育総務課）
4. 岡谷市文化財保護審議会の委員の承認について【資料 No. 4】（非公開）（生涯学習課）

○ 報 告

1. 第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について【資料 No. 5】（教育総務課）
2. 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について【資料 No. 6】（各課）

○ そ の 他

・行事等について（各課）

・その他

出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎、教育委員 轟 美緒

事務局（説明員）

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課長 荻原 浩樹、
教育総務課主幹指導主事 村松 晋、生涯学習課長 三澤 達也、スポーツ振興課長 味澤 勝一、
教育総務課 教育企画主幹 西山 塁、学校教育主幹 新村 尚志、
美術考古館主幹 牛澤孝太郎、教育総務課事務員 渡辺 凱

<会議録>

○開 会

宮坂教育長

それでは、5月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は、轟教育委員、小平教育委員にお願いしたいと思います。

○教育長報告

宮坂教育長

初めに、私から報告をさせていただきます。

二十四節気、5月5日は立夏であります。早いものだと思いながら、朝晩少し寒い日もございますが、野山には新緑が増え、夏の気配が感じられます。雑節でいきますと5月1日が八十八夜、ニュースなどで早い場所では茶摘みや田植えが始まっているところであります。植物の成長にも日々伸びを感じる部分が多く、我が家でも市花のつつじが美しい花を咲かせ始めました。

子どもたちの様子からであります。4月、例年よりも早めに学校参観をさせていただきました。岡谷市のみではありませんけれども、新規採用の先生方が多いということで、今年は比較的に異動が多く、新しい先生方が岡谷に見えたこと、また、新1年生の小学校1年生、中学校1年生の子どもたちの様子も見たいということで各学校を回らせていただきました。小学校1年生ですが先生との信頼の“いと”がとても熱く、身を乗り出して先生の話を聞く様子がとてもいいなと思いました。なかには、なかなか集団にうまく入れず、カーテンの影で身を潜ませている男の子もいたのですが、校歌練習の中で、校歌の2番になると、カーテンを開けて、そこから黒板を覗き込んでみんなと一緒に歌っている、そのような素敵な様子も見ることができました。

中学校では、とても落ち着いた授業への取り組みが見られました。「こんにちは」という気持ち良い挨拶が帰ってきて嬉しかったです。特別支援級の中1の女の子ですが、4時間目、担任の先生に「お腹減ったよ」などと駆け寄っていくと、その先生がぎゅっと抱きしめてくれる。もちろん女性同士です。安心できる学校、安心できる先生の間柄がとてもありがたい、そんなことを思ったところでもあります。新規採用の先生方も多かったわけですが、もちろん初々しさが武器であります。丁寧に授業準備をしたり、子どもたちと朝から遊んだりする姿があって一安心でありました。五月病に負けずに、豊かな成長、子どもとともに成長してほしいな、そんなことを思ったところでもあります。

また、教育委員の皆様にもお世話になっております、「なかよしプログラム」であります。上の原小の校長先生から嬉しいお知らせをいただきました。上の原小は単級でありますので学年全部で行ったわけですが、終わった後の感想がとても良く、不安いっぱいだったお父さんが「これから

が楽しみになった。」そんなような声が聞かれたということでありました。様子につきましては、まとめて後日紹介させていただきたいと思います。

中学校4校の修学旅行が終わりました。校長先生にお話を聞くと、話し手に瞳のみならず心に向けて聞く姿や、一人ひとりが気や心を配り、履物を揃えたりスリッパを揃えたりする姿、また、バス内のレクでは、それぞれが盛り上げ、みんなで楽しむ雰囲気醸成してくれる姿。今年は特に不登校の生徒のお子さんたちの参加がとて多く、今までの先生方と、また生徒同士の関わりの濃さを感じたところでもあります。引き続き一人を大事にしながら、関わりを続け、魅力ある学校づくりを進めていただきたいと思います。

続きまして、生涯学習課から報告をさせていただきます。現在、美術考古館で「増田荘一郎展」が開催されておりますが、5月16日金曜日から18日、日曜日の三日間、岡谷市を中心とした版画愛好者でつくる「信濃刀画の会」の作品展「林先生白寿祝 創立55周年記念展」が一階交流広場で開催されます。三日間だけの開催となりますが、皆様にはぜひご覧いただきたいと思っております。1970年、岡谷市公民館成人学校「手作り版画年賀状教室」の受講生の中央を中心に発足しました「信濃刀画の会」は、今年で55周年を迎えるとともに、会の講師である現顧問の林先生に白寿を迎えることを記念して開催すると聞いております。また今年は小学校での版画教室、版画のまち岡谷の礎を作っていただきました初代講師の増田荘一郎先生の生誕110年、没後40年、三代目講師の清沢先生の三回忌という節目の年でもあると聞いておりますが、この記念展を最後として会の活動を終了する予定とのことです。

5年前の50周年の時にいただいた記念史をこの後回しますので、素晴らしい版画がありますので、またご覧いただければと思います。

次に、シルクフェアについて報告いたします。当日は、市内外から多くの人が参加し、旧林家住宅だけでなく、市内各会場へ多くの人が訪れていました。旧林家住宅では、255人の皆様にご来館いただき、呈茶、ミニコンサートともに両方とも盛況で、呈茶は早々にお菓子が終了してしまったとのことであります。今後も、市の文化財の素晴らしさを多くの方に知ってもらえるような催しを企画するなど、活用に努めてまいりたいと考えております。

最後に、スポーツ振興課から報告をさせていただきます。4月26日土曜日、松本市やまびこドーム周辺にて第20回長野県市町村対抗小学生駅伝大会と第34回市町村対抗駅伝大会が開催されました。岡谷市チームはカノラホールから庁用バスで会場に向かい、元気に参加しました。小学生の駅伝では女子2名、男子2名の4人が4区間合計4.8キロを力走し、58

チーム中 26 位と健闘、昨年の 39 位から大きく順位を上げました。市町村対抗駅伝では中学生以上の選手 9 人がタスキをつなぎ、39.385 キロを走破、51 チーム中 21 位となり、こちらも昨年より 1 つ順位を上げました。

当日は 4 月下旬にもかかわらず、冷え込みと風がある中でのスタートとなりましたが、好天に恵まれ、沿道からの温かい声援を受けながら、岡谷市チームの選手が力を合わせてタスキを繋ぐ懸命な姿が見られました。

特に注目を集めたのは、岡谷南部中学校 2 年の田畑真子選手。最優秀新人選手賞を受賞する活躍を見せました。田畑さんのご家族は中学 2 年生の双子、高校生、小学生の 4 兄妹全員が選手として出場し、お父さんはコーチとして参加。まさに駅伝一家として会場の注目を集めていました。岡谷市チームの選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして素晴らしい走りがありました。

ただいま報告しました内容に関しまして、教育委員の皆様から何か質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

○議 題

1. 学校評議員の承認について（非公開）
2. 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について（非公開）
3. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について（非公開）
4. 岡谷市文化財保護審議会の委員の承認について（非公開）

宮坂教育長 それでは、本日の議題に入りたいと思います。

議題 1 から議題 4 につきまして、人事に関わる議題になりますので非公開とさせていただきます、後ほど議論したいと思います、よろしいでしょうか。

＜承認＞

○ 報 告

1. 第 4 次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について

＜第 4 次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について、事務局より No.5 に基づき説明＞

轟教育委員 ご説明ありがとうございます。写真で今回もビフォーアフターの写真の使用があるので非常にわかりやすいです。私自身、車の運転、自転車、犬の散歩など、改善された部分を歩くことがあります。車だと一瞬ですが、歩いているとその道路の細さや歩いている立場で車が来た時の危険みたいなものを感じ取ることができて、道路にグリーンベルトがあるという安心感は、何となく感じるがありますので、非常にありがたい改善だなと感じております。

轟教育委員 先日、定例会でご説明いただいたように、また新たに次の箇所というの

が選択されているので、そういう場所が増えていくことは、とても期待したいと思っています。

写真を眺めていて、1つ気づいた点なのですが、グリーンベルトですとか、学童の標示、あとポールが立てられると同時に、道路の舗装もされていて綺麗になっています。これは3月の予算には決定されているかと思うのですが、この舗装はどの段階で判断をされるのでしょうか。おそらく危険な場所を選んで、こういう対策をしますという話が、皆さんで協議しているとのこと説明をいただいたと思うのですが、その中で舗装というのも同時に組み込まれるのでしょうか。

グリーンベルトなどを設置する段階でアスファルトの張替費用がかかると思いますが、予算には一緒に入るものなのでしょうか。

事務局（両角） 基本的に市道の管理は土木課が道路管理者で、全体では380キロぐらいあると思いますが、経年劣化によるデコボコだったり、中には穴があって対応が必要なところがあったりしますので、現場を見ながら毎年の予算の箇所付けの中で、令和7年度も市道の舗装を行い、グリーンベルトも含めて道路整備の中で対応しています。タイミングについては予算編成に合わせて、地元区の要望や管理者として点検をした必要性に応じて実施する場所が決められています。

また、緊急的な安全対策として、防護柵やドットラインの設置などを行なう場合もありますが、基本的には道路の劣化に合わせて対応しているというところです。

太田教育長職務代理者 令和6年度も着実に進めていただいて非常にありがたいと思っています。教育委員としてどのような危険箇所が上げられていて、それに対して毎年進めていることが確認できるので、非常に重要なことだと思っていますので、これからも着実に進めていきたいと思っています。

その上で、私は対策内容の情報が入っているので、確実にいろんなところで地道に進められていることが実感できるのですが、学校やコミュニティスクールなどに参加をさせていただくと、保護者の方から「毎年あげているんだけど、ちっともやってもらえない。」という声が少なからず上がってきます。それがどこを指しているか、その時々で違うと思いますが、何となく話を聞いていると、私の認識と保護者の皆さんとの認識に、少しずれが出ているところが否めないと思っています。それはもしかするとPTAの方が危険箇所の確認に参加しておられ、優先順位の中でまだ手がつけられないということもあるのかもしれませんが、それだけではなくて漠然と進んでいないという受け止め方もあるのかなと思います。

目的は通学路の安全対策でありますので、安全対策は市民全体で意識を持って進めていくところに繋がるのが1番大事だと思いますので、ぜひこ

ういう形で対策を講じましたという報告、情報の発信はされていると思いますが、これからもより丁寧に、行っていただくことで、こういうところが変わったということを周知していただけること自体がより安全で、車を運転する人たちにとって、気をつけようという無意識の啓発にも繋がると思いますので、より丁寧にお願いしたいと思います。

事務局（両角） 基本的に通学路に関して保護者からの声も受け止めながら、学校の危険箇所の把握、それが市に上がってきて合同点検を行ない、対策されることがひとつ。それから、お住まいの区がございますので、地区の方から土木課に道路の要望のなかで、声を吸い上げることもありますので、もしそのような、お声聞いたときには、学校にもお伝えいただくことも大事なかなと思うのと、地区の方にも声をかけていただくと声が届きやすいかなというところがあります。

それから、やはりいろんな声がございます。その中には、ここに信号機を付けてほしい、ここに横断歩道をつけてほしいという声も多いと思いますけれども、市の管轄ではなくて警察ですので、そうした声があっても交差点と交差点の距離とか、信号機と信号機の距離の関係とか、声があっても対応が難しい部分もありますので、そういった部分もあるということは、ご承知をいただければと思います。

小平教育委員 写真ビフォーアフターということで、本当にこうやって改めてみると、本当にわかりやすく綺麗に直していただいていることを改めて感じました。道に入ってしまうと、岡谷の街中でもすごく道が細いところがあり、地域の方々慣れてらっしゃるので、スピードを出して走っているのは常々感じていまして、改めて自分もよく通る道が舗装やプラス色がついた、線がついた、赤いポールが立ったということは感じるようになりました。教育委員会がしっかり見てくださっているのと、会議資料を見ていると分かり、それを感じることができます。市民の皆さんにこのようなことをしっかり伝えてほしいと思いますし、しっかり配慮してくださっているところが伝わったらいいなと思います。

あと、気になったのは、地域によって、この数の補修する部分の割り振りというのは、公平に均等になるように配慮されているのでしょうか。街中ではないところにも補修ができていると推測したのですが、その辺の割り振りはどうなっていたのでしょうか。

事務局（西山） この通学路交通安全プログラムを策定する際には、まず学校から危険箇所を抽出していただきまして、学校からこの場所が危険なところを挙げていただきます。

そこを警察と土木課、県道であれば県の職員などで合同点検をさせていただき、何が対策できるかを検討させていただいているというところであ

ります。

今年度から第5次がスタートしているプログラムについても同様に行なっておりますので、第4次、令和4年度から令和6年度プログラムにつきましても、同じように学校から危険箇所を抽出してというところの作業がまずあるかと思います。

また、第4次のプログラムになりますので、1次から4次までの計画で対策が進んできているというところもありますので、学校によっては、1次から3次の間で対策工事が終わっているところもあるかと思います。

ただ、今現在土木課ともよく話しているのですが、1次にあった対策が、例えばグリーンベルトを設置したところなどの劣化が進んでいて、そこをまた塗り直さなきゃいけないというような形のところが少しずつ出てき始めているので、そういったところはこういったお金をかけながら対策していこうかというところも含めて、土木の方では検討していただいているという状況です。

小平教育委員

先ほどの説明から、気になるところがあつた場合、どこが窓口になるのか、保護者の方に気になるところがあるというのが、普通に会話している中でお聞きしたことがあつて、どのように改善してもらいたい、どこに訴えたらいいのかなっていうのはわからなかったもので、基本的にまずは土地の所有者だと思うのですが、学校と市であるとか、そういう機会をしっかりと持ってくださいっているということでしょうか。

例えば、もう1回確認なのですが、その年度の始まりに一旦保護者の方たちに皆さんの通学路で気になる箇所ありませんか。ということは、毎年聞いたりしてらっしゃることはありますでしょうか。

事務局（両角）

保護者から通学路の危ない場所の声は随時あると思います。学校では新年度が始まったとき、地域の通学路の危険箇所マップを作り上げ、何処が子どもたちの目線で危ないのか子どもたちや保護者の皆さんに、ここが暗がりになっているとか、道路の安全性以外の部分も含めて、雨が降ったときは川が危ない、水が多くなるというような、そういう子どもたちの危険箇所を把握しながらやっています。

ただし日常生活の中で、本来見通しの良い道に生け垣が広がっていて、通学路上にはみ出ているため危ないなどというのは、道路管理というよりは地域の方をお願いをしないと改善ができない部分もありますので、そうした声は学校、それから教育総務課で相談を受けて土木に繋ぐこともできますので、もし相談がありましたら言っていただければありがたいと思います。

小平教育委員

わかりました。今聞いただけで思い当たるところがありますが、やはり

日々の季節が変わると、道路の補修だけではない部分に気になる場所がありますので、こちらもアドバイスしていかれるといいかなと思います。

宮坂教育長

村松先生、学校に直接そういうようなことで問い合わせはありますか。

事務局（村松）

随時、地域の方からそういった声を寄せられることもありますし、また学校によって様々で地区児童会とか地区生徒会は、地区ごとに児童、生徒の集まりがあつて、そこに PTA の方が来て、その時に危険な場所の確認をしていたり、そういう時に上がってきた情報を市へあげたり、小学校では集団下校や集団登校に先生たちがついて、危ない場所を報告させていただいたということもあります。

藤森教育委員

毎年こういった形で、通学路の危険箇所を改善していただいているということ、ありがとうございます。いわゆるリスクとかハザードという考えでいくと、ハザード、危険要因があつてそれに対する対策を行っていて、その実際のリスクの部分で子どもたちが実際に通学で歩く子どもたちのリスクがあるからここを改善しているというところは、これは普通に当たり前のことですが、実際にそのリスクの部分で子どもたちに対する、例えば交通安全教室とか、ここの通学路のこういうところが危ないからここは気を付けて歩くんだよ、その指導などは、どのように行われているのでしょうか。

事務局（村松）

先ほども申し上げたとおり、小学校だと学期の初め、学校によって3日間から1週間、集団登校、集団下校があります。集団下校の時に先生が引率して、子どもたちの歩き方等を見ることもありますし、また、ボランティアの方々が見守りに立っていただいて、その方々から直接子どもたちに話していただくこともあります。こういうことが気になるということが学校にも話があつて、それを学校で子どもたちに指導するということがあります。

藤森教育委員

子どもたちがこれから成長していく中で、当然その町を歩いていて、車が走っていて、教育的な観点でこういうことをするとリスクがあるということをしつかりと教えていくことも重要だと思います。日常の中で危険要因であるところは大人がしつかり見て改善をして、子どもたちにもここではこんなリスク、危険があるから、ここは気を付けなきゃいけないということ結び付けてあげるということが、子どもたちが成長して大人になって、今度自分が車を運転する立場のときに役に立つと思います。

こういった改善施策として行っていただくことはありがたいことですし、加えて、そのリスクを子どもたちにしつかりと学んでいただくような機会も合わせてお願いします。

2. 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について

＜岡谷市議会 3 月定例会一般質問要旨について、事務局より No. 6 に基づき説明＞

太田教育長 職務代理者 目を通していただき、やはり川岸学園やトコトンなど、今年度、教育委員会で取り組もうということについての関心と意識が非常に高いのかなと質問拝見させていただいて思いましたので、頑張らなきゃいけないなと改めて思いました。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

宮坂教育長 ありがとうございます。
それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（荻原） 次回の定例教育委員会は
6 月 6 日（金）9 時 30 分から 202 会議室を予定しています。
よろしくお願いいたします。

宮坂教育長 ありがとうございました。
続きまして、非公開の議題に進みます。

○議 題（非公開）

1. 学校評議員の承認について

＜事務局より No. 1 に基づき説明、承認される＞

2. 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について

＜事務局より No. 2 に基づき説明、承認される＞

3. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について

＜事務局より No. 3 に基づき説明、承認される＞

4. 岡谷市文化財保護審議会の委員の承認について

＜事務局より No. 4 に基づき説明、承認される＞

10 時 30 分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和 7 年 6 月 6 日

教 育 長

宮坂 享

署 名 委 員

小平 陽子

署 名 委 員

轟 美緒

調 製 職 員

白土 淳